



湘南わかばグループ健康ニュース No.206 2015年11・12月号

わかば

特定医療法人 湘南中央病院・湘南わかば苑・わかば訪問看護ステーション
社団若林会 若林会居宅介護支援事業所・藤沢市明治いきいきサポートセンター
(地域包括支援センター)

発行者/今井重信 編集責任者/呉鐵仁
〒251-0056 藤沢市羽鳥 1-3-43 Tel0466(36)8151 Fax0466(35)2886
URL <http://www.swg.or.jp> E-mail wakaba@swg.or.jp

【理 念】

地域の人々とともに歩み
健康を守り良質な医療と介護を
提供します。

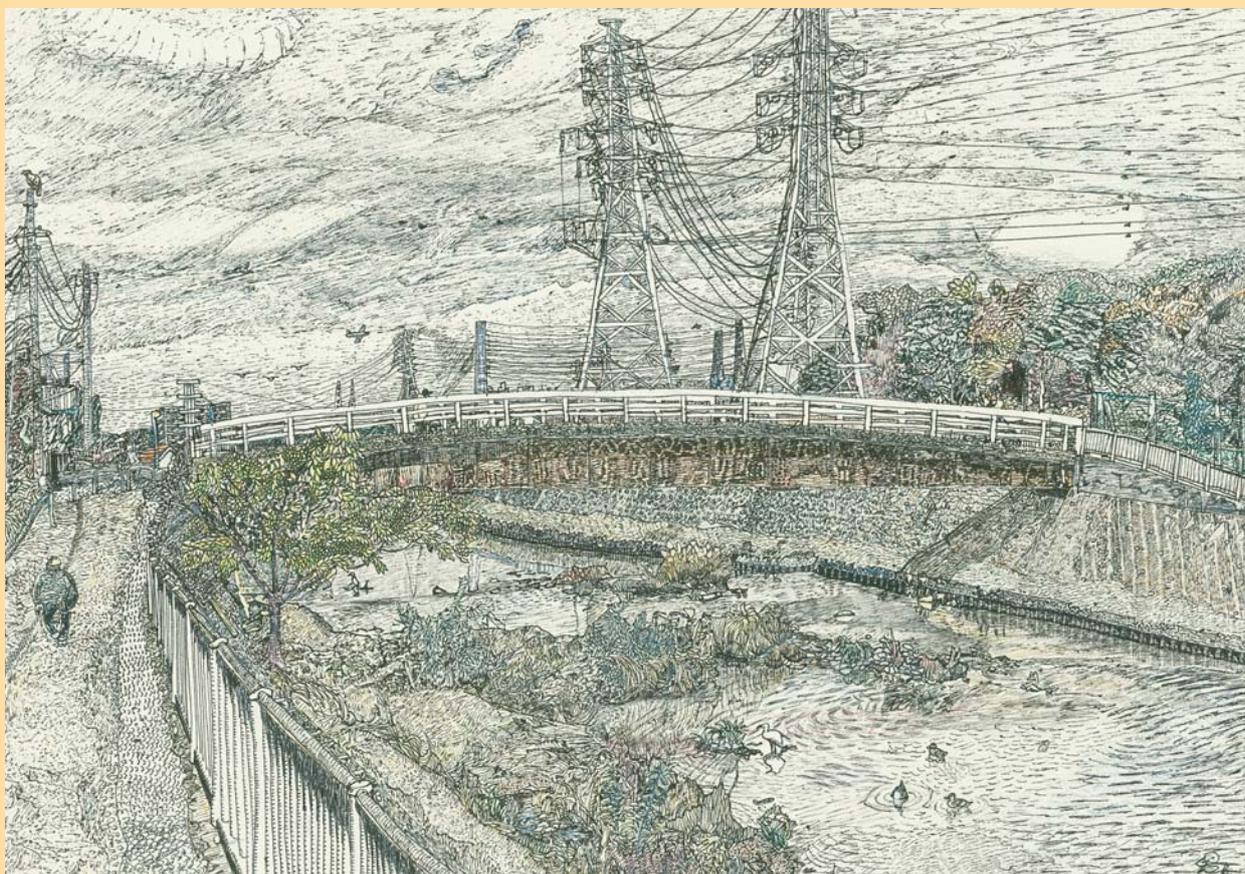
【基本方針】

いつでも受けられる医療と介護
地域に出る医療と介護
包括的な医療と介護
納得づくの医療と介護



「ときのわすれもの」～住むまちの風景～

タイトル 『引地川・城下橋』



今回から鶴沼桜が岡在住の画家一色千枝子さんのペン画を掲載します。引地川を愛おしんで描かれているのが伝わります。自生する植物、泳いでいる鳥、水の流れ、空の雲の動き、毎日川の表情は変わります。橋の様子もひとつひとつ違います。城下橋は大庭にあり、小糸川との合流地点です。
(作者 一色千枝子/企画 宮原青子)

インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン接種実施中

主な記事

医学 私たちのカラダの「糖のながれ」 ～あなたの臍臓にやさしい生活～	糖尿病外来 医師	酒 井 謙 (2)
What's! 明治いきいきサポートセンター	明治いきいきサポートセンター	中 西 淳 子 (4)
ワンポイント・クリニック 味覚の秋	辻堂南口耳鼻科 院長	藤 野 明 人 (5)
おすすめ健康レシピ 南瓜のグラタン	栄養管理室	本 多 利 光 (5)
エッセイ シンポジウム		葉 山 淳 子 (6)
地域 明治地区ふるさとまつり	明治いきいきサポートセンター	田 代 真 樹 (7)
こえ 投書箱から	事務部長	伊 藤 稔 (7)

私たちのカラダの「糖のながれ」

～あなたの膵臓にやさしい生活～



糖尿病外来 医師 酒井 謙

1 私たちのカラダのエネルギー調達と糖尿病

私たちのカラダを構成する37兆2000億個の細胞は、外からエネルギーを調達して生きています。殆どの細胞は体内の決まった場所から動けないので、普段私たちが食べるものをスーパーマーケットへ買いに行くように、自分が移動してエネルギーを調達することができません。

そんな細胞のエネルギー調達の仕組みは、「完全デリバリーシステム」です。そのシステムをみてみましょう。

生命の営みにとって最も重要なエネルギー源は「ブドウ糖」です。その流れを追いかけてみます。ブドウ糖は消化分解を受ける前は、炭水化物と総称されるものに存在します。炭水化物を多く含む食べ物には、お米（ごはん・おもち・お煎餅…）、麦（パン・うどん・パスタ・お好み焼き…）、お芋（じゃが・さつまいも・里…）、

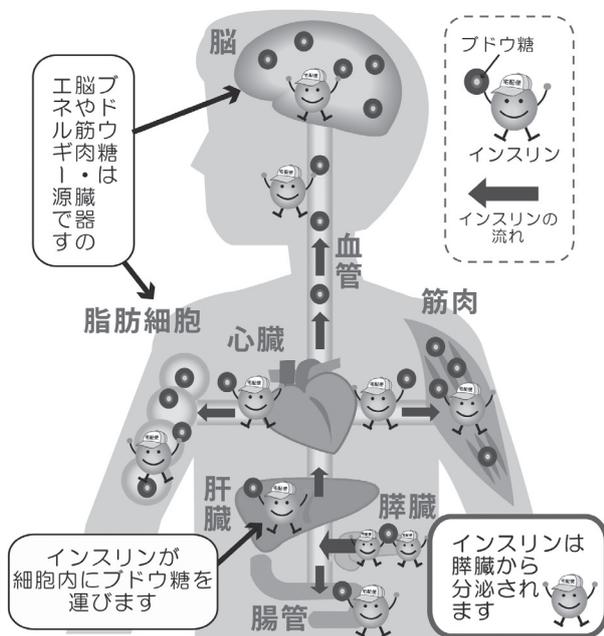
くだものです。

炭水化物を食べると、口↓食道↓胃袋と通過して腸に辿り着きます。腸で炭水化物は細かくバラバラにされ（消化され）吸収されます。バラバラにされたものは「糖」と総称され、その中で最も重要な糖が「ブドウ糖」です。吸収されたブドウ糖は、おなかの奥深い処を流れる血管（門脈）の中に入ってきます。

「膵臓」が速やかにそれを感じ知します、そして膵臓にあるβ（ベータ）細胞という細胞が「インスリン」というホルモンをタイミン良く、必要なだけ門脈に放出します。インスリンは血糖と共にカラダ中の血管を血液の流れに乗って巡ります。宅配便にたとえて言うなら、血糖という「荷物」をインスリンという「宅配便屋さん」が預かり、血管という「道路」を使って、細胞という「お家」に「配達」している感じですよ。

血液中のブドウ糖を細胞へ運ぶ

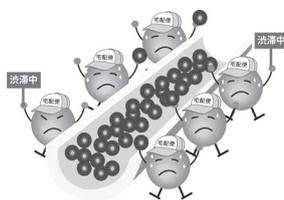
インスリン



【慢性的な渋滞が何年も続くと『道路』の機能に支障が生じる』（動脈硬化）ので、慢性渋滞状態を「糖尿病」と名付け、取り組んでいきましょう。】というのが、糖尿病と診断し、取り組んでもらうことの意義です。



インスリンは、細胞という「二軒一軒のお家の前」に着くと「お届けのものです」とチャイムを鳴らします。するとお家の人が出てきて、血糖という「荷物」を受け取ります（細胞内に糖を取り込みます）。そしてお家で暮らす人のエネルギー源として利用されます。このシステムに支障が生じると、血管という「道路」で「血糖の「渋滞」」（高血糖）が生じます。



2 膵臓を中心に据えた
糖尿病の原因

どのような方に慢性渋滞状態が生じるのでしょうか？一般的にみられる糖尿病（2型糖尿病）に焦点をあててお話を進めます。

この糖尿病に必ず存在するのが「膵臓が十分にインスリンを放出できていない」という事実です。「細胞内糖取り込み」にはインスリンの働きが必須です。ですから、十分インスリンが働かないとブドウ糖は細胞に取り込まれず、取り込まれなかった糖は長らく血管の中をさまようこと（慢性渋滞状態）となります。まいります。

ではどんな時に膵臓は十分にインスリンを放出できなくなるのでしょうか？

その全貌はわからない部分を多く残していますが、糖尿病科学を担う研究者は、『膵臓に負担をかける生活』を過

ごしていると膵臓が疲れてしまつてインスリンを十分放出できなくなる』と考えています。

じゃ〜「膵臓に負担をかける生活って？」となりますよね。「膵臓に負担をかける生活」は「食べ物をどのようにとっているか」、「からだをどのように動かしているか」が大きく関連します。

「食べ物をごどのようにとっているか」ですが、炭水化物の過剰摂取は、膵臓という「宅配会社」からすれば、届けなければいけない「荷物」が増えるということです。お中元やお歳暮の時期のように。はじめは「宅配便屋さん」（膵臓）も頑張ります。でも毎日毎日残業続きが続いたらどうでしょう？ニュースでみる労災認定過労死ではありませんが、膵臓はへ口へ口に疲れてしまい（β細胞疲弊）十分なインスリンが出せなくなってしまう。



油分（脂質）の摂取量も原因になります。油は、インスリンの働きを邪魔します（インスリン抵抗性の発生）。働きが邪魔される（悪くなる）分、膵臓はたくさんインスリンを放出する必要に迫られます。これ膵臓にとっては負担ですよ。それから甘いもの（くだもの・お菓子・スポーツドリンク）が問題になることもあります。カロリーは高くないのですが急激に血管の中に糖として入ってくる食べ物なんです。それは短時間にワツと宅配注文が入るイメージです。突然宅配ピザ注文が50枚入ったような感じでしょうか。



「からだをどのように動かしているか」ですが、運動不足は油の過剰摂取と同じようにインスリンの働きを悪くしてしまいます。

ここまで話を進めると、「膵臓に負担をかける生活をしたらみんな糖尿病になっちゃうのかしら？」と心配になりますね。

実際はなる方とならない方がいらつしゃいます。「その理由は、元々の膵臓の体力が違ふからではないか？」という考え方があります。言い換えると、「元々虚弱体質のような膵臓をお持ちの方に負担がかかる」と糖尿病を発症するのではないかと「という捉えです」。

というのは、糖尿病の方を続けて拝見していると、食事・運動療法にしっかりと取り組んでおられる方で膵臓のインスリンを出す能力が劇的に回復したり、なかなか取り組めない方でその能力が低下していくことを医師は経験、実感しているからです。

3 おわりに

糖尿病の食事療法・運動療法に取り組んでおられる方、多くいらつしゃるでしょう。皆さんの中には、「自分がだらしのない生活をしてきたから糖尿病になったんだわ、生活習慣病なんていわれてるし…」といったような自分を責める気持ちがおありの方がいらつしゃるかもしれません。

でも診療している僕の立場からすると「そうとも限らない」と本当に思っています。

もともと華奢な膵臓だから糖尿病と付き合われている方が実際たくさんいらつしゃいます。ですから生活習慣病など後ろめたさを持つことなく、堂々と糖尿病と付き合ってください。そして食事療法・運動療法は「自分の膵臓をいたわるため」の捉えで取り組んで下さい。



平成18年に地域包括支援センター(以降、包括)ができて今年で10年目になります。その間、包括の業務についていろいろなところで書かせていただき、『わかば』でも何回か紹介記事をいただかせていただきましたが、今も「包括って何をやっているところ?」とよくご質問いただきます。

なぜみなさんから「包括って何をしているのかわからない!」とよく聞かれるのでしょうか。おそらく、何となくはわかるが漠然としていて具体的なところがわからない、ということなのだと思います。

包括は、具体的に何をしているのでしょうか。まずは、包括職員の平均的な一日の流れをご紹介します。

◆包括職員の一日程◆

8:30	ミーティング
9:30	公園体操
10:30	利用者様宅訪問
12:30	事務所に戻り昼休み
14:00	地域の会議に出席 司会進行を担当
16:30	事務所に戻り、本日の記録
	明日の準備など

※緊急のご相談があり、急に訪問が入る場合もあります



これを見ると単純な印象があるかもしれませんが、これだけの中にも多岐にわたる業務内容があります。

包括は、基本的には高齢者のみなさんやそのご家族からのご相談を受けてそれに対応することを主な仕事としていますが、右記の活動例でもわかるように、個人と地域の両方を対象として動いています。

こんな相談があります・・・

一人暮らしで、10年前から持病があるが何とか生活してきた。しかし最近状態が悪化して、このままだと寝たきりになってしまうのではないかと不安である。(本人より)

妻が先週自宅で転倒し、歩けなくなった。すぐによくなると思って世話をしていたが、高齢の自分がこれ以上世話をしていくことはできない。(同居家族より)

一人暮らしの高齢者宅の郵便受けに郵便物がたまっている。何かあったのではないかと心配である。(近隣住民より)

大腿骨骨折で入院している高齢者が、本人の希望で3日後に退院する。まだリハビリの途中であるが、退院に向けて必要なサービスの調整を依頼したい。(病院の相談員より)

「地域を対象にする」ということは、少しイメージしにくいとおもいますが、包括がお受けしている相談は、必ずしもご本人からではなく、近隣の方からということも少なくありません。

一人暮らしの高齢者の方の生活を、地域の方が心配して包括へ相談があり、サービスの利用につながったり、地域の人たちによる支援の輪ができることもあります。

また、支援が必要なのにそれを受け入れない方へのアプローチに、地域のみなさんの力をかけることもあります。

地域のみなさんには「どこに相談していいかわからなかったら、包括を思い出してください」とお伝えしています。どこへも

包括の仕事はもともとの市の役割ですが、地域の法人が市から委託を受けています。

包括が目ざしているのは、みなさんが安心して暮らせる、つながりのある地域を作っていくことにあります。

地域のみなさんが感じている課題について、包括が中心となって地域のみなさんと話し合う会議を持つことも、重要な活動です。

公園で高齢者のみなさんと体操をしているのも、体操の活動を通して、みなさんとながることができ、地域課題の把握を進めることが目的にあります。

「体操が包括の仕事である」という認識を持たれる方もありますが、体操はあくまでも取り組みの手段であり、体操そのものが目的や業務ではないのです。そんな様々な仕事を通して包括が目をしているのは、みなさんが安心して暮らせる、つながりのある地域を作っていくことにあります。



明治いきいきサポートセンター
(明治地域包括支援センター)

藤沢市辻堂神台 2-2-1 アイクロス湘南 2階
(JR 辻堂駅 東口改札北口より徒歩3分)

0466-35-2811

最後になりますが、「いきいきサポートセンター」は包括の愛称です。みなさん、どうぞ包括を知っていただき、困った時はお気軽にご利用ください。

相談できなくて困っている人がいないようにするためです。いただいたご相談には、多くの場合、しかるべき機関等と連携して対応を進めています。そんな意味で、気軽な相談窓口であり続けるように努めています。

どうでしょうか、少しは包括のことがご理解いただけましたか? 決まった仕事内容をこなしていると言うよりは、日々変わっていくみなさんの個別の課題や、地域が抱える課題に試行錯誤しながら取り組んでいるのです。

味らいの分布図
(みらい)



残暑も一段落、いよいよ食欲も増し味覚の秋到来です。ところで地球に住む生き物で人間ほど食文化を発達させた種は無いでしょう。雑食性で何でも食べるといえる人もありませんが、単に空腹を満たす目的にとどまらず、味わうことで至福の満足感を得ようと食欲に味を追求してきた結果といえます。ちよつと大袈裟かもしれませんが、おいしさを食べるのは人生最大の喜びであり、いろいろな味覚を楽しむことができて人間に生まれてきて本当に良かったと思える一瞬ではないでしょうか？

ワンポイント・クリニック

～味覚の秋～

辻堂南口耳鼻科 院長 藤野 明人



味覚には甘み、塩味、うま味、酸味、苦味があり、舌の表面にある味らみという場所がセンサーの役目をしています。【図参照】

この味らみの障害は様々な場合に見られます。頻度の高い順に上げると年齢変化(味らみの

数の低下、口腔乾燥)、栄養のアンバランス(亜鉛など微量元素の低下)、薬剤(降圧利尿剤、鎮痛剤、カゼ薬、安定剤等)、全身疾患などです。味覚の低下で悩んでいる方は一度耳鼻咽喉科の受診をお勧めします。

◆診療案内

- 耳鼻咽喉科
- 神経耳科専門診療
- 各種保険取扱
- めまい相談
- 耳鳴り、聴こえ相談
- 鼻水、鼻づまり、イビキ相談
- 声がれ、咳、ノド違和感相談

◆お問い合わせ先

お電話でのお問い合わせは

0466-33-2233

受付/9:00～18:00 木曜、日曜、祝日除く

◆アクセス

〒251-0047 藤沢市辻堂 1-2-2
リストレジデンス辻堂タワー3F



辻堂南口耳鼻科



院長 藤野 明人

耳鼻咽喉科、メマイ専門医としての実績と経験を生かし、地域に密着した医療を心掛けていきたいと思っております。的確な診断、わかりやすい説明をし、皆様が安心して受診していただけるよう優しい対応で、スタッフ一同頑張っておりますので、どうぞよろしくお願致します。

◆受付・診療時間・休診日

受付時間 月・火・水・金・土

9:00～12:00 / 15:00～18:00

休診日 木曜日・日曜日・祝日

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	—	○	○	—
15:00～18:30	○	○	○	—	○	○	—

南瓜のグラタン



本多栄養士 おすすめ健康レシピ



《材料 1 人前》

382kcal 塩分 1.7 g

材料

南瓜	100 g	ホワイトソース	50 g
玉葱	30 g	ピザ用チーズ	20 g
ベーコン	20 g	バター	10 g

- ① 南瓜はところどころ皮を切り、一口大に切りレンジで加熱する
- ② スライスした玉葱と、短冊にしたベーコンをバターで炒める
- ③ 玉葱がしんなりしてきたらホワイトソース(市販品)をまぜ、温まったら火を止める
- ④ ①をグラタン皿に並べ③と、ピザ用チーズをかけオーブンで焼き、焦げ目がついたら出来上がり

☆日本には、冬至に南瓜を食べる風習がありますが、緑黄色野菜の少ない冬に、保存性が良く、カロテンやビタミンを多く含む南瓜を食べます。風邪などひかぬよう抵抗力をつけようとした先人の知恵ではないでしょうか。



シンポジウム

■ 葉山淳子



10月、秋も深まったとある土曜日の午後、一つの「シンポジウム」の案内をもらった。難しげな会議があまり得意ではないワタシとしては無縁のお誘いと思い、さてどうしたもんだと熟慮した。なんせタイトルが「神奈川戦後70年と革新自治体」となっていた。

高尚なシンポジウムだとは思ったけれど東京都は美濃部都知事、横浜市長は飛鳥田一雄、川崎市長は伊藤三郎、藤沢市長は葉山峻、鎌倉市長は正木千冬とそれぞれ一時代を築いた革新自治体の検証だった。スピーカーは元神奈川県は元職員井上良一氏、横浜市は神奈川県自治研センター上林得郎氏、元横浜市企画調整局長泣く子も黙るナルミンジャーこと鳴海正泰氏、川崎市は元職員板橋洋一氏、藤沢市は元職員杉渕武氏がそれぞれ革新ベルト地帯と言われた県政、市政を検証、すなわち丸裸にするという。でも我がダンナ殿も俎上に載せられるわけだからちょっと辟きにはなった。

最近では市民の目も厳しく、ずぼらだったダンナは今の世の中じゃあ務まらないよナと友人たちと時々話している。でも夢追い人には違いなかったなあ。人を誘っ

ていく勇気もなかったし一人バス、電車、地下鉄を乗り継いで横浜の地域労働文化会館なる所へ出向いた。

だいぶ早く着いた私は、ダンナとよくぶらり行って買い物をした横浜橋商店街に行ってみた。メッチャ懐かしかった。よく買ったキムチ、チジミ、惣菜、ひとつもあの頃と変わっていなかった。所狭しと並んだ商品は相変わらずリーズナブルな価格でにぎわっていた。

60歳までウナギなるものを食べられなかった私は、いつもダンナが食べるうな丼のたれのかかったごはんのみを食べていた。還暦をきっかけに一度ウナギを食べてみようと思いを決めて食べたところ、こんなにおいしいものが世の中にあっただろうかと、食わず嫌いで過ごしたことをおおいに後悔した。

自治研センターにダンナが行くときはよくその横浜橋商店街のウナギ屋さんに行ってみた。やはり全く変わってなかった。そうだ、今日はワタシもうな丼を食べるゾと暖簾をくぐった。精をつけて検証を聴こうと思ったわけだ。お～いしかった。これなら何を言われてもダイジョーブ!!

1時半からシンポジウムは始まった。会議室は満

杯だった。懐かしい顔が並んでいた。一番後ろに席を取りお茶を買いに再度表に出た。大きく深呼吸をして再び会議室に入った。100人は下らない人々が開会を待っていた。高齢者がやはり多い。それはそうだ、だって50年くらい前からの話をするのだから。

話題の主たちはみなアチラの世界にいかれている。アチラの世界にも革新自治体などあるのだろうか。口角泡を飛ばしながら、性懲りもなく議論をしているのだろうか。いと真面目に傍で首長を支えてた方々の検証が続いた。

ご本人たちはさておき、まわりで行政を現場で執行する方たちはどんなに大変なご苦労だったかがよくわかった。革新首長とは、時代のニーズだったといえればそれまでだが、飛鳥田一雄というたぐいまれなリーダーを戴き、志を一にする者の集団であったような気がする。

私自身もこの頃の首長さん方にはおめにかかってお話をさせていただいている。共通して言えることは皆さん明るい! 夢を心から語っておられた! 難しい政治のことは私にはわからない。でも、あの方たちが真剣に議論を重ね少しでも良い世の中をと目指されたのは決して無駄ではなかったはずだ。

今の政治、特に国の政治誰が夢を語っておられるのでしょうか。もう一度検証された革新自治体なるものを振り返ってみませんか?

明治地区ふるさとまつり

明治いきいきサポートセンター

主任介護支援専門員 田代真樹

10月17日(土)と18日(日)に、「第38回 明治地区ふるさとまつり」が明治市民センター・明治公民館にて開催されました。毎年、私たち明治地域包括支援センターと湘南中央病院の職員による、健康チェック・健康相談とバルーンアートの模擬店を行いました。



健康チェックでは、血圧測定、体組計、血管年齢、握力測定を行いました。看護師による血圧測定では、測定の際にも日頃の健康の不安について質問をお受けしました。

体組計では、体内年齢や体脂肪等の結果をみなさん真剣にならべてみていました。普段あまり測定しない血管年齢については、実際の年齢との違いにみなさん一喜一憂されていました。バルーンアートは新作のパンプキンやポンデライオンが人気があり、小さいお子様も喜んでいただきました。

また、今年には明治地区郷土づくり推進会議 健康生きがい部会によるステージ発表に協力し、土打公園体操の参加者のみなさんと一緒に、かわせみ体操等の発表をしました。

両日合わせて約200人の皆さまにおいでいただきました。なかには、「毎年楽しみに来ています！」という方もいらっしゃいました。本当にありがとうございました。

このような地域のイベントへの参加を通じて、地域のみなさんの健康にお役に立てるような活動を今後とも行っていききたいと思えます。



薬剤師による健康相談



血圧測定・健康相談



スタッフ集合！



ステージ発表 (かわせみ体操)



体組計測定

投書箱から

●患者さんより生け花について嬉しいご意見をいただきました。 「ボランティアの方がやっていただいている生け花を楽しませていただきました。綺麗で元気を出させてくれました。ありがとうございます」 「ボランティアさんがやっています」 のような説明があると良いと思います というご意見です。

今回はこのように嬉しく大変ありがたいご意見を頂戴いたしました。当院では、「患者さんがより快適に診療が受けられるように」「患者さんの気持ちが少ないでも和み精神的な苦痛や不安を和らげられたら」「少しでも患者さんのお役にたてたら」というようなことで各種ボランティアさん方に活躍いただいております。

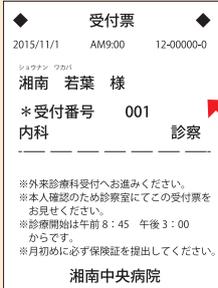
今回、ボランティアさん方の励みにもなるような大変貴重なご意見を頂戴しありがとうございます。早速検討し対応させていただきます。

事務部長 伊藤 稔

医療安全管理委員会からのお知らせ

患者間違いを防ぐ目的で、診察や検査の時に、次の方法でご本人確認させていただきます。

- ①お名前をフルネームでお伝えください。
- ②診察受付時に再来機から印刷される受付表を各診察室の職員にお渡し下さい。



患者間違いには、十分に注意を払っておりますが、患者さんからのご協力もお願いします。

湘南中央病院
今月のギャラリー(2015年11~12月)

パッチワーク、キルト クリスマス展



私たちは辻堂公民館(縫の会)35年、湘南台公民館(翔の会)25年、仲間たちとのふれあいを大切にしながらパッチワークを楽しんでいるサークルです。生活に愛用しているベッドカバー、バック、また季節感あふれるタペストリー等、布の優しい手触りに一針一針、心のみずから作っております。この時期色々のクリスマスをご一緒にお楽しみくださいませ。

パッチワークサークル 代表 太田 章子

「わかば」でもたびたび、検診のご案内を掲載していますが、私は今年の検診を受けて、先日、湘南中央病院で大腸の内視鏡検査を初めて受けました。やってみたい感想は、前日からの検査食にはじまり、当日の検査準備等、長くて短い道のりでした(笑)。検査に至っては楽なものではありませんでしたが、振り返るとやってよかったです。

今年、他界した父親が、一番初めに発病をした年齢に自身が近づいてきました。健康とは日ごろからの生活習慣から意識することが大切です。一年に一回は必ず検診を受けて、何かあったら必ず診察を受けるようにしたいなと思います。検診は、自分の健康を見直すきっかけです。検診で、みなさんも検診は受けるようにしてください。(田代 真樹)

編/集/後/記

◆ 11月の外来診療担当表 ◆

一般外来

2015.11.1 現在

	午前・午後	月	火	水	木	金	土
内科	午前	村川 一般	岡田 一般 循環器	岡田 一般 循環器	岡 一般	村川 一般	新城 第1・3・5 岡 第2・4
		渡戸 一般	渡戸 一般	新城 一般	永瀨 一般	永瀨 一般	永瀨 第1・3・5 岡田 第2・4
					相澤 一般 (予約)	相澤 一般 (予約)	相澤 第2 (予約)
	午後	岡田 一般 循環器	永瀨 一般		新城 一般	奥脇(裕) 一般 肝臓	
			岡 一般			相澤 (予約)	
外科	午前	呉	池田(清)	呉	長田	松崎	松崎
	午後	松崎	長田		呉	池田(清)	
整形外科	午前	池田(全)	今井	黒岩	今井	黒岩	池田(全)
	午後	木下	黒岩	池田(全)	芹ヶ野	木下	芹ヶ野
泌尿器科	午前	多田	多田	多田	多田	多田	多田(逢坂) (望月)
	午後		多田				

※休診日：日曜、祭日、水曜午後、土曜午後
※医師都合等により休診・代診となる場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。

専門外来

	午前・午後	月	火	水	木	金	土
内分泌(糖尿)	午前 午後		酒井(午前) 予約		酒井(午後) 予約		酒井(午前) 予約(第3,4)
ペインクリニック	午後	奥野 予約					
胸部化学療法外来	午前		長田 予約				
胸部外科	午後					長田 予約	
乳腺甲狀	午前			○			
皮膚科	午前			露木			
心療内科	午前		菌部 予約		三吉 予約		
神経内科	午前 午後					松川 予約	
リウマチ科	午前						永瀨(泰) 予約
禁煙外来	午後	小川 予約	小川 予約		小川 予約	小川 予約	小川(午前) 予約(応相談)
緩和ケア科	午後		片町 予約	片町 予約	片町 予約		

(専門外来は予約が必要です。詳しくは総合受付でお尋ね下さい。)